

## 「基礎・基本」定着状況調査の結果・分析について

今年度、6月14日（火）に行われた県内全公立中学校第2学年を対象とした「基礎・基本定着状況調査」の結果が、9月末に公表されました。

調査結果は各校で分析し、今後の教育活動に反映されるよう工夫・改善を図ってまいります。

### 国語

	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
県	73.2	75.7	79.5	59.1	80.9
市	70.2	72.8	73.4	57.1	78.4
本校	78.0	81.0	78.4	63.9	88.2

国語の授業を「楽しみにしている」「わかりやすい」「役に立つ」という肯定的な回答が高く県・市を上回り、問題に対する無回答率も低いことなどから、国語に対する学習意識がかなり高いと分析しています。これは、授業での「構造的な板書」による客観的な文章把握、比較読み、スピーチなど、他の領域との関連を意識させた言語活動の充実を図るよう授業改善に努めてきた成果であると考えています。

今後は、「書くこと」における意見と事実を明確にした記述について、事実から意見を組み立てるなど、段階を踏んだ言語活動の充実を図っていきます。

### 数学

	教科全体	数と式	図形	数量関係	資料の活用
県	74.7	77.1	75.5	72.2	60.2
市	72.4	74.9	72.4	70.3	59.7
本校	73.8	75.2	72.6	72.4	71.3

約7割の生徒が「数学の勉強は好き・授業を楽しみにしている」と、肯定的な回答が高く、県・市を上回ることから、数学に対する学習意識がかなり高いと分析しています。

課題である内容については、類題を別紙プリントで用意し、応用分野（①）について、今一度考えて理解するよう授業の中に取り入れることや基本分野（②、③）については反復練習を取り入れ、また、定期テストの試験範囲に入れて定着を目指します。

今後も、興味・関心が高まるよう、基本分野では反復練習を繰り返し、模型や実験器具などを使い、一層の定着を図ります。応用では、しっかり考え、自分の解き方や考え方を説明する機会をつくっていきます。

### 英語

	教科全体	聞くこと	読むこと	書くこと	話すこと
県	71.9	78.2	66.7	62.4	83.1
市	69.9	78.6	64.9	56.4	81.9
本校	69.5	80.3	66.6	48.9	84.0

英語学習全体についての興味・関心や学習意欲は、県市の数値よりやや低い部分がありますが、昨年度に比べ10%以上高くなった項目も多くあります。話すことに関する項目について、高い数値を示しており、今年度は教科書の音読に時間をかけ、ペアによる聞いたり話したりする活動を多く設定した成果であると考えています。

一方、つなぎ言葉などを使って会話を長く続けることや、自分の考えを読み手に伝わるように書くことに課題があることが分かりました。

今後は、二文以上で答える練習や会話をチャットにつなげる活動を取り入れることで課題の改善を図っていきます。

## 生活と学習に関する意識・実態調査

領域		内 容	本校	県	市
生活に関する項目	1	毎日朝食をとる	97.5	94.6	95.0
	2	ふだん（月曜～金曜）同じくらいの時刻に寝ています	84.6	83.5	82.3
	3	新聞やテレビのニュースを見ています。	71.3	72.7	70.6
	4	本を読むのが好きです	73.8	71.9	70.0
	5	将来の夢や目標がある	78.8	74.4	73.2
	6	将来の夢や目標は、かなうと思う	65.0	60.8	58.8
	7	近所に人や家の人にあいさつをしています	86.7	88.6	88.1
	8	自分にはよいところがあります	70.0	60.5	58.6
	9	自分のよさは、まわりから認められていると思う	63.8	48.8	48.0
学習に関する項目	10	学校へ行くのは楽しいです	88.3	83.8	84.2
	11	将来、仕事や生活に役立つと思うから勉強をしている	81.3	77.0	73.5
	12	自分で勉強の計画を立てています	44.6	47.0	43.2
	13	学習を最後までやり遂げてうれしかったことがあります	82.9	84.5	84.5
	14	分からないことは、分かるまで努力します	71.7	66.0	63.9
	15	見たことや考えたことを人に伝えるとき、どのような順番で説明すると分かりやすいか考えています	65.4	60.1	59.0
	16	相手や目的に応じた話し方をしています	88.3	82.0	81.8
	17	学校で習ったことをふだんの生活の中で思い起こしたり利用したりしています。	66.7	58.4	56.4

「毎日朝食をとる」「ふだん同じくらいの時刻に寝ています」の回答率が大変高く、各家庭の協力のもと規則正しい家庭生活が送れているようです。

「将来への夢や目標がある」「学校へ行くのは楽しいです」「分からないことを分かるまで努力します」の回答率が県・市平均を上回り、目標を持ち自主的に生活や学習をする生徒が多くいます。

昨年度に比較し、「自分には良いところがあります」「自分の良さは、まわりから認められていると思う」などの自己肯定感が高く、さらに、生徒同士の関わりの場面の工夫や、最後まであきらめずにやりきる粘り強さを身につけさせるための工夫を中心に、生徒理解を基盤とし分かる授業の創造に向け授業改善と生き生きとした活動や学級づくりに取り組んでいきたいと考えています。